FUJITSU Smartphone ARROWS M305/KA4

取扱説明書

'14.11（1 版）
CA92002-8986

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

マニュアルについて

本製品のマニュアル構成は以下です。

- はじめに添付品を確認してください
  添付品の一覧です。購入後、すぐに添付品を確認してください。
- 取扱説明書（本書）
  本製品の接続、初期設定までを説明しています。
- 製品ガイド
  本製品のハードウェア、ソフトウェア全般にわたっての使いかたの説明や技術情報を記載しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。
上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています。
＜本製品から＞ホーム画面の［オンラインマニュアル］をタップ
＜パソコンから＞http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/manual/

- 本書の内容は 2014 年 11 月現在のものです。
- 本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略したり形状を簡略化したりしていることがあります。
- 本書内の「認証操作」とは、機能に応じて暗証番号やパスワードを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。

Copyright FUJITSU LIMITED 2014

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態でご返送します。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストールされているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

◘ ソフトウェアの使用条件

1.本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2.第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されているマニュアルを含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。

3.改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

4.保証の範囲

（1）弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

（2）本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

5.ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

消耗品について

電池パックなどの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。

青少年によるインターネット上の有害アクセス防止について

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするためには「フィルタリング」を活用することをお勧めします。「フィルタリング」を利用するためには、フィルタリング機能を持つアプリをインストールする必要があります。インストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書、ヘルプをご確認ください。

海外での使用について

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

お使いの microSIM によっては海外でご利用できない場合があります。

詳細は microSIM の提供元へお問い合わせください。

本製品のご利用について

- 本製品は、LTE・HSPA・UMTS・GSM・GPRS・802.11a/b/g/n/ac・Bluetooth に対応しています。
- 本製品は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよいところであってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが 4 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本製品は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・HSPA・UMTS・GSM・GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本製品は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSD カードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本製品の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の製品の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本製品に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

- 本製品は、データの同期をするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、無線 LAN 通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 「位置情報」の設定が「ON」の場合には、位置情報の精度向上を行うためのデータを取得するため、定期的にパケット通信が発生します。
- 本製品のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.61
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 電池残量が 0%になり、そのまま長時間充電しない場合、日時の設定がリセットされます。電池残量が 0%になる前に、AC アダプタを接続して充電することをお勧めします。
  電池残量が 0%になった場合は、AC アダプタを接続し、5 分以上充電してから起動してください。
  日時は次の手順で設定します。
  ホーム画面で→［設定］→［日付と時刻］
- microSD カードが認識されない場合は、次の手順でマウントの操作を行ってください。
  ホーム画面で→［設定］→［ストレージ］→［SD カードをマウント］
- 本製品を USB ケーブルでパソコンに接続している場合、データ転送中は USB ケーブルを抜かないでください。
- GPS 機能を使って測位する場合、時間がかかることがあります。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は不要なアプリやデータを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去してください。

- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google™ が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一、本製品を紛失した場合は、Gmail™、Google Play™ などの Google サービスや、SNS などのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、本製品のセキュリティを確保してください。
- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告無く変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- アプリによっては、microSD カードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。
  改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
  本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本製品の銘板シールに表示されております。
  本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。各事項は以下の区分に分けて記載しています。

警告表示について

この取扱説明書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される」内容を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される」内容を示しています。

※1: 重傷: 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2: 傷害: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電を指します。

※3: 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）ことを示す記号です。

■ 本体、電池パック、microSIM、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険

必ず指定の周辺機器をご使用ください。

発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

濡らさないでください。

水、海水、ペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置すると、発熱・感電・火災・けが・故障の原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

発火・破裂・火災の原因となります。

外部接続端子やステレオイヤホン端子および充電端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やステレオイヤホン端子および充電端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災や故障の原因となる場合があり

ます。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する可能性のある場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火するおそれがあります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に外部接続端子やコンセントに触れないように十分ご注意ください。

感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。

レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

⚠ 警告

落下させる、投げ付けるなど強い衝撃を与えないでください。

破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。

故障・発火・感電・傷害の原因となります。万が一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造および改造された本製品の使用は電波法違反になります。

本製品に AC アダプタを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。

電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品、アダプタの破損の原因となります。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万が一、水などの液体が外部接続端子キャップ、リアカバーなどから本製品本体に入った場合には、ご使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

本製品本体が濡れている状態で充電しないでください。

感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証の対象外となり修理ができません。

外部接続端子やステレオイヤホン端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

落下などによって破損し、本製品本体の内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。

感電したり、破損部でけがをしたりすることがあります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。

漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作（ゲームや音楽再生など）はしないでください。

安全性を損ない、事故の原因となります。また、自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。自転車運転中の使用も法律で罰せられる場合があります。

ステレオイヤホン（市販品）などを本製品本体に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、音量の上げすぎにご注意ください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

⚠注意

直射日光の当たる場所や高温になるところ（自動車内など）、極端に低温になるところ、湿気やほこりの多いところで使用や保管をしないでください。

発熱・発火・変形・故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災・故障・傷害の原因となります。

ペットが本製品本体に噛みつかないようご注意ください。

ペットが誤飲したり、破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントから AC アダプタの電源プラグを抜いてください。
2. 本製品の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

本製品を長時間ご使用になる場合、熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌

に触れたまま使用しないでください。

低温やけどの原因となる場合があります。

外部から電源が供給されている状態の本製品本体、AC アダプタおよび指定の充電用機器に長時間触れないでください。

低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線機器の定格を超えて使用しないでください。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

外部接続端子、ステレオイヤホン端子、microSIM スロット、microSD カードスロットに液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災・感電・故障の原因となります。microSIM スロット、microSD カードスロットを使用しないときは、ほこりなどが入らないようにカバーを閉めてください。

本体の吸着物にご注意ください。

受話口／スピーカー部には磁石を使用しているため、画びょうやピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口／スピーカー部に異物がないか確かめてください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。

故障・内部データの消失の原因となります。

外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部機器などをお使いになるときは、端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。

破損・故障の原因となります。

ステレオイヤホン（市販品）などを本製品本体に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。

始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。

けがなどの事故の原因となります。

■ 本体について

⚠危険

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

発火・破損・けがなどの原因となります。

⚠警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m 以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

航空機内や病院での使用については、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本製品の電波により医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。

手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本製品を持ち込まないでください。

病棟内では、本製品の電源を切ってください。ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本製品の電源を切ってください。

医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm 以上離隔距離を確保できないおそれがある場合には、事前に通信機能が使用

できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または本製品の電源をお切りください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。

高精度な電子機器の近くでは本製品本体の電源をお切りください。

電子機器に影響を与える場合があります（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知機、自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください）。

メール、インターネット、撮影、ゲームなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。

転倒、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

ゲームなどのアプリや本製品を傾けることにより画面を切り替えるなどの機能のご利用にあたっては、周囲の安全を確認し、必要以上に振り回さないでください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

キャッシュカード、フロッピーディスク、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけないでください。

記録内容が消失する場合があります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、医師の診療を受けてください。

長時間使用した場合やお客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質については「■材質一覧」（→P.21）をご参照ください。

通常は外部接続端子キャップ、リアカバーを閉めた状態で使用してください。

外部接続端子キャップや、リアカバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。

受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイク、ステレオイヤホン端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

microSD カードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、本製品の電源を切ったりしないでください。

データの消失・故障の原因となります。

カメラ、無線 LAN などのアプリを使用中に、本製品本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。

やけど・故障・発火・火災の原因となります。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

■ 電池パックについて

本製品の電池パックはリチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接はんだ付けをしたりしないでください。

電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

電池パックは防水性能を有しておりません。

電池パックに水、海水、ペットの尿 などの液体が入ると発熱・破損・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、「富士通 SupportDesk Android™ 専用窓口」までご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診療を受けてください。

機器に付着した場合は、液に直接触れずに拭き取ってください。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。

漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。

誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分に確認ください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。

発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

卓上ホルダ:DC5V
AC アダプタ:AC100V～240V

指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指定の充電用機器のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。

感電・ショート・火災の原因となります。

AC アダプタや電源プラグはコンセントからときどき抜いて、コンセントとの接続部分および AC アダプタとケーブルの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

AC アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

本製品にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

AC アダプタにケーブルをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。

落雷による感電の原因となります。

お手入れの際は、コンセントから必ず AC アダプタの電源プラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

AC アダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

充電中は卓上ホルダの充電端子に長時間触れないでください。

低温やけどになるおそれがあります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

卓上ホルダや指定の充電用機器は防水性能を有しておりません。水、海水、ペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。

発熱・火災・感電、電子回路のショートによる故障の原因となります。万が一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

本製品を長期間使用しないときは、安全のため AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本製品から AC アダプタを取り外してください。

火災の原因となることがあります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電や故障の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。

お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。卓上ホルダおよびACアダプタで使用している各部品の材質については「■材質一覧」（→P.21）をご参照ください。

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、ケーブルを引っ張らず、ACアダプタの本体を持って抜いてください。

ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、感電や火災などの原因となります。

濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。

感電・故障の原因となります。

本製品の設置や、周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。

ACアダプタや電源プラグがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器の取扱説明書をよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、本製品および周辺機器が故障する原因となります。

■ microSIMについて

⚠ 警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にmicroSIMを入れないでください。

溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意

microSIMを本製品本体に挿入するときや、取り出すときは手や指を傷つけないようにご注意ください。

水に濡らしたり、濡れた手で触ったり、汚したりしないでください。

故障・破損の原因となります。

microSIMを分解、改造しないでください。

データの消失・故障の原因となります。

microSIMを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

microSIM を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

microSIM の IC（金属）部分に直接手で触れたり、金属などをあててショートさせたりしないでください。

静電気などにより内部データが変化・消失・故障するおそれがあります。

microSIM を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

傷つけたり、折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。また、落としたり衝撃を与えたりしないでください。

内部データの消失や故障の原因となります。

microSIM の IC（金属）部分を傷付けないでください。

故障の原因となります。

microSIM はほこりの多い場所には保管しないでください。

故障の原因となります。

microSIM 保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。

故障の原因となります。

microSIM は、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

誤って飲み込むと、窒息や傷害の原因となる場合があります。

■ 材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AF コーティング
外装ケース	フロントケース	PA-GF 樹脂／アクリル系 UV 硬化塗装処理
	リアケース	PC+ABS-GF 樹脂／アクリル系 UV 硬化塗装処理
	リアカバー	PC-GF 樹脂+ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系 UV 硬化塗装処理
レシーバパネル		アクリル樹脂／なし
背面カメラ（カメラパネル）		アクリル樹脂／なし
フラッシュレンズ		アクリル樹脂／なし
電源ボタン、音量ボタン		POM 樹脂／なし
外部接続端子キャップ		PC 樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系 UV 硬化塗装処理
充電端子		PC 樹脂＋ABS 樹脂／金メッキ
電池パック FARBP103	本体	PC 樹脂／なし
	端子部	ベリリウム銅／金メッキ
	ラベル	ポリエチレン／黒色印刷文字
卓上ホルダ FAR-CR103	上下ケース	ABS 樹脂／なし
	スペーサー（L・R）、フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）	POM 樹脂／なし
	充電端子（接点部）	りん青銅／金メッキ
	ゴム足	ポリウレタン／なし
	外部接続端子	ステンレス鋼／錫（スズ）メッキ

使用箇所			材質／表面処理
AC アダプタ FMV-AC346	AC アダプタ	ケース	PC／シボ加工
		金属部	黄銅／ニッケルメッキ
	microUSB ケーブル	ケーブル外皮	PVC／なし
		USB プラグ（樹脂部）	PVC／なし
		USB プラグ（金属部）	鋼／ニッケルメッキ
		microUSB プラグ（樹脂部）	PVC／なし
		microUSB プラグ（金属部）	ステンレス／ニッケルメッキ

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→P.9）もあわせてご覧ください。

本体取り扱い上の注意

- 本製品の防水性能（IPX5、IPX8 相当）、防塵性能（IP5X）を発揮するために、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、卓上ホルダ、AC アダプタ、オプション品に水をかけたりしないでください。付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。雨の中や水滴がついたままでの外部接続端子キャップ、リアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となります。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、かばんなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品のディスプレイは強化ガラスを使用しておりますが、無理な力や強い衝撃を与えたりすると割れるおそれがあります。万が一、ディスプレイが欠けたり割れたりしたときは、使用を中止し破損部に触れないでください。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください（周囲温度 5°C～35°C、湿度 45%～85%の範囲内でご使用ください）。
  - 充電用機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください（周囲温度 5°C～35°C、湿度 45%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36°C～40°C であれば一時的な使用は可能です）。
  - 本製品本体
  - microSIM（本製品本体装着状態）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて充電端子を変形させないでください。
- 家庭用電化製品（テレビ、スピーカーなど）をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、離れてご使用ください。
- アプリ使用中および充電中など、ご使用状況によっては本製品本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは柔らかい布で乾拭きしてください。指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- 本製品本体に指定の充電用機器を接続する際は、指定の充電用機器のコネクタの形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って接続すると、破損・故障の原因となります。うまく接続できない場合は、無理に接続せず、接続しなおしてください。→p.49
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、

指示通りに使用しているかをご注意ください。けがの原因となります。

■ タッチパネルについて

- かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、画面ロックの状態で収納してください。画面ロックを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、タッチパネルへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- タッチパネルにシールなどを貼らないでください。また、シート類（覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- つめ先でタッチ操作をしないでください。つめが割れたり、けがの原因となる場合があります。
- タッチパネル表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でタッチパネル表面を乾拭きしてください。
- 手袋タッチについて
  - 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
  - タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
  - ［手袋タッチ］にチェックを付けた状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては、意図しない操作が実行される場合があります。

■ 電池パックについて

- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 電池パックはご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

- 無理な力がかかると故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないようご注意ください。
- 夏期に閉めきった車内に放置するなどの極端な高温環境や、極端な低温環境では、電池の容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。また、電池寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命です。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池残量が少なくなると、警告メッセージが表示され、しばらくすると電源が切れます。電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本製品の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

◘ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 指定の充電用機器のケーブルをアダプタ本体や卓上ホルダに巻きつけないでください。感電・発熱・火災の原因となります。
- 指定の充電用機器の電源プラグやコネクタとケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災の原因となります。

◘ カメラについて

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあります。この場合、当社は変化

または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 大切な撮影をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

◘ 音楽／動画について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律で罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、ステレオイヤホン（市販品）からの音漏れにご注意ください。

◘ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

◘ ご利用いただく各種暗証番号について

- 本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

◘ 放熱について

- 本製品本体および AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
- 台所などの油を使用する場所の近くでは、使わないでください。油分が本体内部に入って放熱部品などに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

◘ Bluetooth®機能／無線 LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品の Bluetooth 機能は日本国内の技術基準認定を取得しています。
- 本製品の無線 LAN 機能は日本国内の技術基準認定を取得しています。
- 一部の国／地域では Bluetooth 機能や無線 LAN 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線 LAN や Bluetooth 機器が使用する周波数帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN のアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 航空機内での利用につきましては、ご利用になられる航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz 帯ご使用上の注意

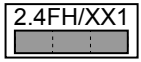
本製品の Bluetooth 機能および無線 LAN 機能は、2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 本製品はすべての Bluetooth 対応機器、無線 LAN 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての Bluetooth 対応機器、無線 LAN 対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth 機能、無線 LAN 機能の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth 機能、無線 LAN 機能によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線 LAN は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定によっては、悪意ある第三者により、通信を傍受されたり、不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- Bluetooth 通信、無線 LAN 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth 機能と無線 LAN 機能は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth 機能、無線 LAN 機能のいずれかの使用を中止してください。

本製品の Bluetooth 機能および無線 LAN 機能は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。

■ Bluetooth 機能：2.4FH1/XX1



本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式およびその他方式を採用しています。与干渉距離は約 10m 以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避できません。

■ 無線 LAN 機能：2.4DS/OF4

本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ 5GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN 機能は 5GHz 帯を使用できます。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52（5.2GHz 帯／36,38,40,42,44,46,48ch）
- W53（5.3GHz 帯／52,54,56,58,60,62,64ch）

- W56（5.6GHz 帯／100,102,104,106,108,110,112,116,118,120, 122,124,126,128,132,134, 136,140ch）

防水／防塵性能に関する注意事項

- 正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関する注意事項」の内容をお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

□ 防水／防塵性能について

- 本製品は外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態で IPX5 相当※1、IPX8 相当※2 の防水性能および IP5X 相当※3 の防塵性能を有しています（当社試験方法による）。具体的には、雨（1 時間の雨量が 20mm 未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

[※1 IPX5 相当]

内径 6.3mm のノズルを用いて、約 3m の距離から約 12.5 リットル／分の水を 3 分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

[※2 IPX8 相当]

常温で水道水、かつ静水の水深 1.5m の水槽に電話機本体を静かに沈め、約 30 分間水底に放置しても、電話機内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことを意味します。

[※3 IP5X 相当]

IP5X とは、保護度合いを指し、直径 75μm 以下の塵埃（じんあい）が入った装置に端末を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

- 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

◘ ご使用にあたっての重要事項

- 砂浜などの上に直接置かないでください。受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイク、ステレオイヤホン端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが浮いている箇所がないことを確認しながら確実に閉じてください。

  ※ 外部接続端子キャップの閉じ方は「AC アダプタを使って充電」（→P.50）をご参照ください。

  ※ リアカバーの閉じ方は「電池パックの取り付け／取り外し」（→P.46）をご参照ください。
- 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 外部接続端子キャップやリアカバーと本製品本体の間に微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 手や本体が濡れている状態での外部接続端子キャップやリアカバーの開閉は絶対にしないでください。
- ステレオイヤホン端子部が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態で使用しないでください。
- 水中で本製品を使用（ボタン操作を含む）しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。
- 本製品本体の防水性能は、常温（5°C～35°C）の真水・水道水にのみ対応しています。以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。

  例： 石鹸・洗剤・入浴剤などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗

◘ 快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体の隙間に水が溜まっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特にリアカバーやステレオイヤホン端子およびボタン部内の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

◘ 利用シーン別注意事項

■ 雨の中で

- 雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。
  ※　やや強い雨（1 時間の雨量が 20mm 未満）まで
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、本製品に水滴がついているとき、または手が濡れている状態での外部接続端子キャップやリアカバーの開閉は絶対にしないでください。

■ お風呂場で

- 濡れた手で持って通話できますが、湯船には浸けないでください。
- 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。

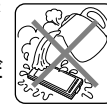
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 周囲温度 5°C～35°C、湿度 45%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36°C～40°C であれば一時的な使用は可能です。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。

■ シャワーで

- シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。
- 蛇口やシャワーなどで高い水圧をかけないでください。

■ キッチンで

- 石鹸、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- 高温のお湯や冷水に浸けたり、かけたりしないでください。
- 強い流水（6 リットル／分を超える）をかけないでください。



- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところに置かないでください。

■ プールサイドで

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- プールの水がかかった場合は、やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5°C～35°C）の水道水）で洗い流してください。洗うときはリアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 炎天下や高温になる場所で使用・放置しないでください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーをしっかり閉じた状態で防水性能を保ちます。

■ 洗う

- 石鹸、洗剤など水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5°C～35°C）の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で洗えますが、高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはリアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- ステレオイヤホン端子部は洗わないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

◘ 防水／防塵性能を維持するために

■ ゴムパッキンについて

外部接続端子キャップやリアカバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないよう注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 常温（5°C～35°C）の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取って必ず取り除いてください。

- 外部接続端子キャップやリアカバーの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つく恐れがあり、浸水の原因となります。
- 防水／防塵性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、2 年ごとに交換することをお勧めします（有償）。ゴムパッキンの交換については、お客様自身による交換不可のためご購入元にご連絡ください。

■ 水以外が付着した場合

- 万が一、水以外（海水／洗剤／砂／泥など）が付着してしまった場合、直ちに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5°C～35°C）の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で常温の水道水で洗えます。
- 洗うときはリアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

■ 水で濡れたあとは

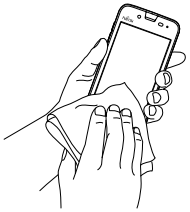
- 水で濡れたあとは、水抜きをし、リアカバーを外さないで、乾いた清潔な布で本製品の水滴を拭き取ってください。
  - ※ 外部接続端子部がショートする恐れがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。
  - ※ ステレオイヤホン端子に水滴が付着したまま使用しないでください。
  - ※ 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 本製品に水滴が付着したまま放置しないでください。ステレオイヤホン端子やボタン部分などの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、入り込んだ水分は本製品を振るなどして払い落としてください（この場合、周囲に注意し、本製品を振り落とさないよう十分ご注意ください）。残った水分は乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。

- 本製品に水や雪がついた場合は、清潔な乾いた布で拭き取ってください。拭き取れなかった水や隙間にたまった水で服やバッグを濡らす場合がありますのでご注意ください。
- ステレオイヤホン端子は、十分に乾燥したことを確認のうえで使用してください。水滴が残ったままの状態で使用すると、故障の原因となります。

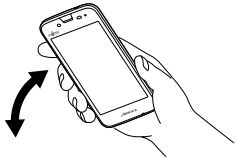
■ 水抜きについて

本製品本体に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
また、ステレオイヤホン端子やボタン部分などの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、次の手順で本製品の水分を取り除いてください。

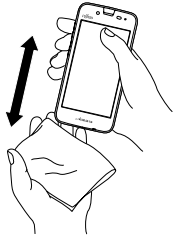
1. 本製品表面の水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。



2. 図のように本製品をしっかりと持ち、20 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口／スピーカーと送話口／マイクの位置を入れ替えて同じように振ってください。
※本製品を振り落とさないように、しっかり握ってください。



3. 乾いた布などに本製品を軽く押し当て、受話口／スピーカー、背面マイク、送話口／マイク、外部接続端子、ステレオイヤホン端子、ボタン、背面マイクなどの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4. 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置してください（30 分程度）。

上記手順を行ったあとでも、本製品に水分が残っている場合があります。

濡れて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やカバンなどを濡らしてしまう恐れがありますのでご注意ください。

■ 充電に関する注意事項

電池パック、卓上ホルダ、指定の充電用機器およびオプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、次の点を確認してください。

- 濡れたまま本製品を充電しないでください。水に濡れたあとに充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 濡れた手で卓上ホルダおよび指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。

- 卓上ホルダおよび指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用してください。火災・感電の原因となります。
- 卓上ホルダおよび指定の充電用機器は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

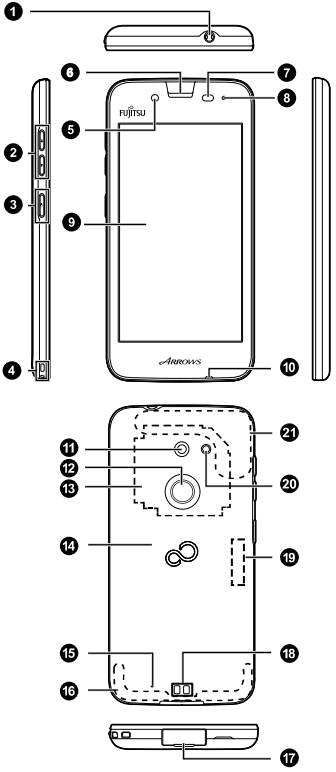
◘ その他の注意事項

- 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水などには絶対に浸けないでください。また、水中で使用したり、水中に長時間沈めたりしないでください。故障の原因となります。
- 手が濡れているときや本製品に水滴がついているときには、電池パックの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 耐熱性について
  熱湯、サウナ、熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。
- 衝撃について
  落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイク、ステレオイヤホン端子などを綿棒や尖ったものでつつかないでください。本体が破損・変形する恐れがあり、防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 防水性能について
  規定以上の強い水流（6 リットル／分以上の水流 : 例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本製品は IPX5 相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 本製品は水に浮きません。
- 周囲温度 5°C～35°C、湿度 45%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36°C～40°C であれば一時的な使用は可能です。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵性能が維持できない場合があります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。

- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態で、「富士通 SupportDesk Android™ 専用窓口」までご連絡ください。
- 受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる場合があります。

各部名称

本体



1. ヘッドセット／ステレオイヤホン端子（防水）
2. 音量ボタン（＋／－ボタン）※1
3. 電源ボタン（ボタン）※2
4. ストラップホール
5. 前面カメラ（インカメラ）※3
6. 受話口／スピーカー
7. 近接センサー／RGB センサー※4,※5
8. お知らせランプ（着信ランプ）
9. ディスプレイ（タッチパネル）
10. 送話口／マイク
11. 背面カメラ（アウトカメラ）※3
12. 指紋センサー
13. NFC アンテナ部※3,※6
14. リアカバー※7
15. 背面マイク※8
16. 内蔵アンテナ部※6
17. 外部接続端子
18. 充電端子
19. 無線 LAN／Bluetooth アンテナ部※6
20. フラッシュ／ライト※3
21. GPS／LTE アンテナ部※6

※1: 各種機能の音量を調節します。▼ボタンを長押しすると、音量が下がり、更に押し続けるとマナーモード（バイブレーション）になります。
※2: 電源が切れているときに電源ボタンを 2 秒以上押し続けると電源が入ります。電源が入っているときに電源ボタンを押し続けると携帯電話オプションメニューが表示され、 電源を切る、再起動の操作や、機内モード、マナーモード（ミュート、バイブレーション）の設定／解除ができます。また、画面を消灯／点灯させます（スリープモードの切り替え）。
※3: カスタムメイドでなしを選択された場合は搭載されていません。
※4: 近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。RGB センサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。
※5: センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。
※6: 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
※7: リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、SIM カードスロットと microSD カードスロットがあります。
リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。
※8: 通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようご注意ください。

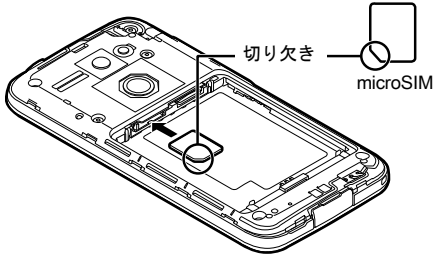
microSIM

- microSIM とは、電話番号などのお客様情報が記録されている IC カードです。
- microSIM が本製品に取り付けられていないと、電話の発着信や SMS の送受信などの機能を利用することができません。

microSIM の取り付け／取り外し

取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います（「電池パックの取り付け／取り外し」（→P.45）を参照してください）。

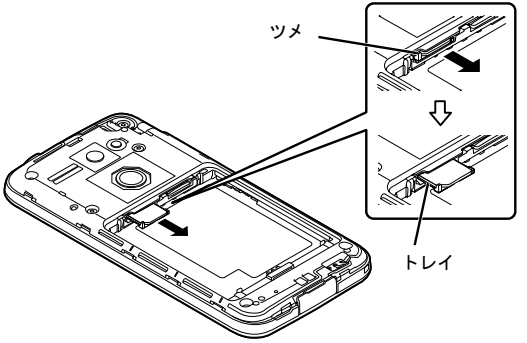
■ 取り付けかた



1. microSIM の切り欠き部分を手前にして、microSIM スロットに差し込む

※ microSIM の向きにご注意ください。

■ **取り外しかた**



1. **トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す**
2. **microSIM を軽く押さえながら、矢印の方向へ引き出す**
   ※ このとき microSIM を下方向に強く押し付けないでください。
3. **トレイをまっすぐ水平に差し込む**

お知らせ

- microSIM を取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、microSIM を無理に取り付けたり取り外そうとすると、microSIM が壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイは外れない構造になっています。トレイを引き出す際はトレイ引き出し位置（トレイが自然に止まる位置）を目安とし、無理に引き出さないでください。トレイが破損するおそれがあります。

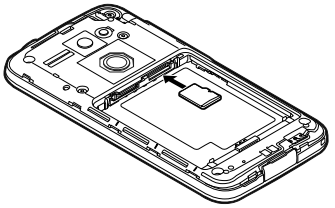
microSD カード

- 本製品は、2GB までの microSD カード、32GB までの microSDHC カードまたは microSDHC UHS-I カードに対応しています。
- 市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。対応の microSD カードは各 microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- microSD カードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

microSD カードの取り付け／取り外し

取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います（「電池パックの取り付け／取り外し」（→P.45）を参照してください）。

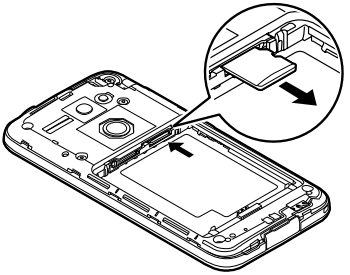
■ 取り付けかた



1. microSD カードの金属端子面を下にして、microSD カードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む

※ microSD カードの向きにご注意ください。

■ 取り外しかた



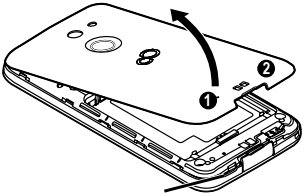
1. microSD カードを軽く押し込んでから離し、microSD カードをまっすぐ引き出す

電池パック

電池パックの取り付け／取り外し

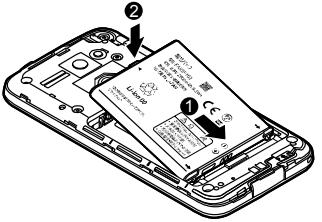
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本製品のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- 本製品が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本製品専用の電池パック FARBP103 をご利用ください。

■ 取り付けかた



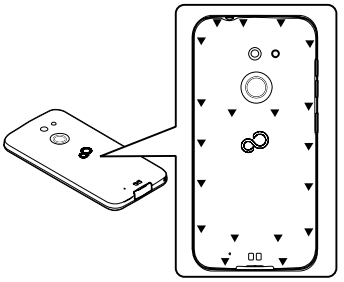
リアカバー取り外し部

1. リアカバー取り外し部に指先を入れて、リアカバー裏のツメを❶、❷の順番で外してから、リアカバーを矢印の方向に取り外す



2. 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本製品の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける

3. リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

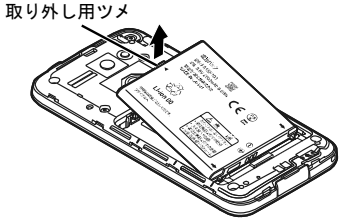


4. リアカバー裏のツメと本製品のミゾを合わせて［▼］部分をしっかりと押して、完全に閉める。

防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※ 「防水／防塵性能について」（→P.29）を参照してください。

■ 取り外しかた



1. 電池パックの取り付けの操作 1.を行う

2. 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

充電

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをお勧めします。
- 充電中は本製品や AC アダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本製品が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本製品が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせランプが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせランプが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、「富士通 SupportDesk Android™ 専用窓口」またはご購入元にご連絡ください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本製品の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 電池パックを一度取り外し、再度取り付けた直後は、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。

卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ FAR-CR103 と AC アダプタ FMV-AC346 を使用した場合で説明します。

1. microUSB ケーブルの USB プラグを AC アダプタの端子に差し込む(❶)

2. microUSB ケーブルの microUSB プラグを B の刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子へ水平に差し込む(❷)

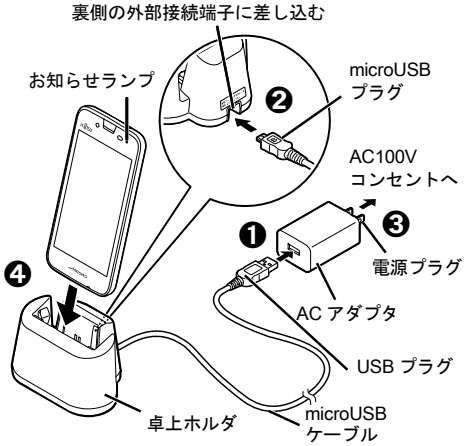
3. AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む(❸)

4. 本製品を卓上ホルダに差し込み、お知らせランプの点灯を確認する(❹)

- 充電中はお知らせランプが赤色に点灯します。お知らせランプが点灯しない場合には、点灯するまで本製品を卓上ホルダに押し込んでください。
- 充電が完了するとお知らせランプが消灯します。

5. 充電が終わったら、本製品を卓上ホルダから取り外し、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く

6. AC アダプタと卓上ホルダから microUSB ケーブルを抜く



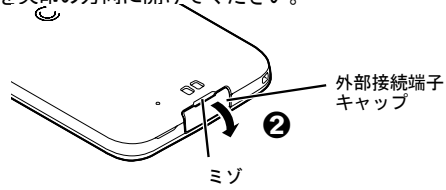
AC アダプタを使って充電

AC アダプタ FMV-AC346 を使った場合で説明します。

1. microUSB ケーブルの USB プラグを AC アダプタの端子に差し込む(❶)

2. 本製品底辺の外部接続端子キャップを開ける(❷)

- 外部接続端子を使用するときにはミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印の方向に開けてください。

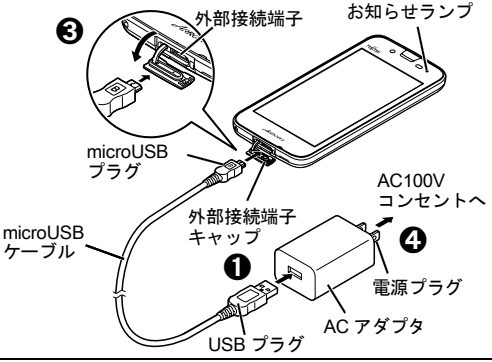


3. microUSB ケーブルの microUSB プラグを B の刻印面を上にして、本製品の外部接続端子に水平に差し込む(❸)

- microUSB プラグの向きにご注意ください。

4. AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む(❹)

- 充電中はお知らせランプが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

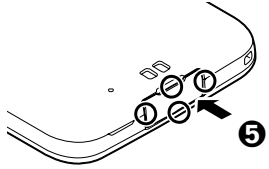


5. 充電が終わったら、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く

6. AC アダプタと本製品から microUSB ケーブルを抜く

7. 本製品の外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印の方向に押し込む（❺）

- ○部分をしっかりと押し、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。



パソコンを使って充電

AC アダプタ付属の microUSB ケーブルを使って、本製品をパソコンから充電することができます。

ホーム画面

ホーム画面は全部で 5 画面あり、指で画面を切り替えます。
アプリのショートカットやウィジェットを置くことができます。

ステータスエリア
状態や設定を確認できるアイコンが表示されます。画面の上から下へスライドすると通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり通知を消去したりできます。

Google 検索 ™

アプリ／ウィジェットメニュー
をタップすると、アプリ一覧とウィジェット一覧が表示されます。

- バック：直前の動作に戻ったり、アプリを終了したりできます。
- ホーム：タップ：ホーム画面を表示します。
  ロングタッチ：最近使ったアプリを表示します。
  ロングタッチして までドラッグ：Google 検索を起動します。
- メニュー：壁紙、アプリの管理、システムの設定を表示します。

各画面は、実際の画面と異なる場合があります。

初期設定を行う

初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行ってください。

1. 電源ボタンを 2 秒程度押し続ける

2. 「Google アカウントをお持ちですか？」画面で Google アカウントを登録

- Google アカウントを持っている場合:
  ［はい］をタップし、Google アカウントのユーザー名とパスワードを入力してログインします。
  その後は、画面の指示に従って登録を行ってください。
- Google アカウントを持っていない場合:
  ［いいえ］をタップして、画面の指示に従って登録を行ってください。

お知らせ

- あとから Google アカウントを設定することができます（［設定］→［アカウントを追加］）。
- 無線 LAN（Wi-Fi）に接続することができます。
  1. ［設定］- Wi-Fi をオンにする
  2. ［Wi-Fi］からネットワークを選択する

3. 「ここがあなたのホームです」画面で［OK］

これで初期設定は完了です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 電源ボタンを 2 秒程度押し続ける

画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

10 秒程度待っても画面が表示されない場合は、もう一度電源ボタンを押してください。それでも画面が表示されない場合は、AC アダプタを接続してから電源ボタンを押してください。

お知らせ

ロック画面が表示された場合は、を指で右方向にスライドして、ロックを解除します。

AC アダプタを接続して電源ボタンを押しても画面が表示されない場合は、電池残量が 0%になっている可能性があります。5 分以上充電してから、電源ボタンを押してください。

電源を切る

1. 電源ボタンを、1〜4 秒押し続ける

「電源を切る」「再起動」「機内モード」またはマナーモード（ミュート）、（バイブレーション）、（解除）を選択する画面が表示されます。

2. 「電源を切る」をタップします。

3. 「OK」をタップします。

電源が切れます。

画面を消す／つける

1. 電源ボタンを、短く押す

画面を消灯／点灯させます（スリープモードの切り替え）。

強制的に再起動する

1. 電源ボタンを、10 秒以上押し続ける

強制的に電源が切れ、再起動します。

ご購入時の状態に戻す

1. ホーム画面で → ［設定］ → ［バックアップとリセット］ → ［データの初期化］

2.確認画面（データの初期化）で［携帯端末をリセット］

3.確認画面（リセットしますか？）で［すべて消去］

いったん電源が切れます。その後、再び電源が入り初期化が行われるので、しばらく待ちます。

「WELCOME」画面が表示されたら初期化終了です。

この後は、「初期設定を行う」（→P.53）の手順 2 以降の操作を行ってください。

お知らせ

ご購入時の状態に戻すと、本製品の内部ストレージのデータがすべて消去されます。この作業を行う前に、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。AC アダプタを接続して操作してください。

付録

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 ARROWS M305/KA4 の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1 ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific AbsorptionRate）で定めており、携帯電話機に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.618W/kg、身体に装着した場合の SAR の最大値は 0.658W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/sar/
※1: 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1（a）, 3.1（b） and 3.2.
The Declaration of Conformity is found on
http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/doc/
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and

manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency （RF） energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.471 W/kg for HEAD, 0.327 W/kg for BODY. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/ kilogram （W/kg） averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

＜Prevention of Hearing Loss＞

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

■ 商標

- 「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- microSD ロゴ、microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Google、Android、およびその他のマークは Google Inc.の商標です。

- Bluetooth® smart ready とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、弊社へライセンスされています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Miracast、Wi-Fi Direct、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Document Viewer を搭載しています。
  ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
  Copyright© 2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

■ その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録された MPEG-4 Video を再生する場合
  - MPEG-LA よりライセンスを受けた提供者により提供された MPEG-4 Video を再生する場合プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人 MPEG LA,LLC にお問い合わせください。
- 本製品は、AVC ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC 規格準拠のビデオ（以下「AVC ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVC ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事してい

ないお客様により符号化された AVC ビデオ、および／または AVC ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手した AVC ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.com をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1 規格準拠のビデオ（以下「VC-1 ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1 ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化された VC-1 ビデオ、および／または VC-1 ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手した VC-1 ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.com をご参照ください。

■ オープンソースソフトウェア

本製品には、Apache License V2.0 に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。

本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面 で［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
http://www.fmworld.net/android/oss/

ソフトウェア更新について

ソフトウェア更新を実行すると、本製品のソフトウェアを最新にすることができます。

ソフトウェア更新を実行するには、LTE／3G データ通信または無線 LAN のいずれかの環境が必要です。LTE／3G データ通信を利用した場合は、パケット通信料がかかります。

設定メニューからソフトウェア更新が必要かを確認し、更新を行ってください。ソフトウェア更新前と更新後に M305/KA4 が自動的に再起動します。

仕様

本体仕様

品名		ARROWS M305/KA4
型名		FARM02001
OS		Android™ 4.4
CPU		MSM8926 Quad Core 1.2GHz
メモリ※1（RAM/ROM）		1GB/8GB
		2GB/16GB（カスタムメイド）
		2GB/32GB（カスタムメイド）
ディスプレイ	サイズ／解像度	約 4.5 インチ / 720 × 1280
	タッチパネル	静電容量方式
外形寸法（W×D×H）		約 138 × 67 × 10.9 mm
質量		約 152g
カメラ		前面カメラ：約 130 万画素 背面カメラ：約 810 万画素
		なし（カスタムメイド）

品名		ARROWS M305/KA4
通信機能	無線 LAN	IEEE802.11 a/b/g/n/ac 準拠※2
	無線 WAN	LTE、HSPA、UMTS、GSM、GPRS
	Bluetooth® バージョン	Ver.4.0 準拠
	NFC	なし
		あり（カスタムメイド）
	GPS	あり
セキュリティ	生体認証	スマート指紋センサー
外部ディスプレイ出力		Miracast
ダイレクト・メモリースロット		microSD™ / microSDHC™ メモリーカードスロット※3 × 1
インターフェース	USB	microUSB※4 × 1
	オーディオ	ヘッドセット / ステレオイヤホン端子
防水・防塵		IPX5 / IPX8, IP5X
耐薬品		対応薬品（エタノール、IPA、次亜塩素酸ナトリウム）※5
バッテリー容量		2,500mAh
連続通話時間		約 670 分※6
連続待受時間		約 950 / 700 時間（UMTS/LTE）※6
バッテリー充電時間		約 150 分※7
電源供給方式		AC アダプタ（添付の microUSB ケーブル経由）

※1： 本体内蔵のメモリは取り外しできません。また、メモリの増設はできません。

※2： 対応しているセキュリティプロトコルは WEP、WPA/WPA2、PSK、802.1xEAP です。

※3： 2GB までの microSD カード、32GB までの microSDHC カードまたは microSDHC UHS-I カードに対応しています。

※4： すべての USB 対応機器の動作を保証するものではありません。本 USB コネクタは、充電にも使用します。

※5： 除菌シートによるふき取りを想定した耐薬性能です。薬品による無変色・無塗装剥れ・無変形等を保証するものではありません。

※6： 当社測定基準によります。ご使用の環境により異なる場合があります。

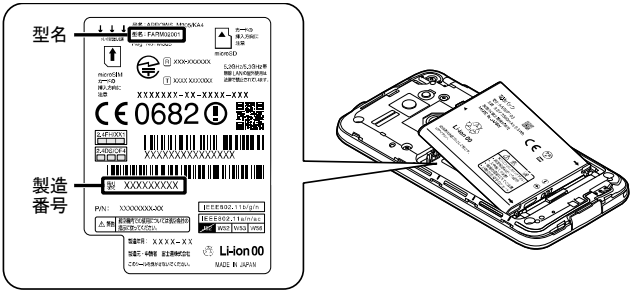
※7： 電源オフ時の充電時間です。

お問い合わせ先

下記をご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。

- マニュアル
  http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/manual/
- よくある QA 一覧
  http://www.fmworld.net/product/phone/biz/fj/faq/

お問い合わせの前に、本体の銘板シールまたは保証書に記載されている、型名、製造番号の確認をお願いします。本体の銘板シールを確認する際は、必ず電源切ってからリアカバー、電池パックを取り外してください。リアカバーと電池パックの取り外しかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」（→P.46）をご参照ください。



富士通 SupportDesk Android™ 専用窓口
［通話料無料］0120-914-746
［受付時間］月曜日～金曜日 9：00～17：00
（祝日、12/30～1/3 は除く）

ARROWS
取扱説明書
CA92002-8986

発 行 日：2014 年 11 月
発行責任：富士通株式会社
〒105-7123
東京都港区東新橋 1-5-2
汐留シティセンター

●本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。
実際の製品と異なる場合があります。
●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。